

第1回 IBAF 12 U 世界選手権(台湾/2011) 試合結果

1st IBAF 12U Baseball World Championship - Taopei

2011年7月8日(金)

大会第1日目

球場名: Youth Park 球場

試合開始 9:55

試合終了 11:18

チーム	1	2	3	4	5	6	計
JAPAN	1	5	3	4	3		16
LITHUANIA(リトアニア)	0	0	0	0	0		0

大会規程により5回コールド

バッテリー

JAPAN P) 沖田、別府、奥野

C) 松本

LITHUANIA P) Psakevicius Laurynas、Pasukevicius Lukas

C) Grigas

二塁打 今井2、川原2、山野2、並河、松本(以上J)

三塁打 松本(J)、Makarevicius(L)

本塁打

主審 Kim H N(KOR)

【戦評】

日本チームの初戦。

試合前にスターティングメンバーの紹介や、国歌吹奏、記念品の交換などを初めて経験する選手たちは、やや緊張していたが、主審のプレーボールの声がかかると同時に普段通りの動きを見せ、元気よくプレーした。

1回、2番今井がヒットで出塁すると、すかさず2盗、3盗を決め、その後、4番で主将の松本のレフト前タイムリーヒットで先制。

2回以降も毎回のヒットで得点を重ね、16安打、16得点。投手陣も沖田、別府、奥野の3投手が1安打に抑えた。結局、大会規則により、5回コールド勝ち。

リトアニアとの力の差はかなり大きかったが、試合終了後は、お互い笑顔で握手していたのが印象的であった。

